1-1 黒大豆粉末投与による、排卵障害改善例について

小濱 隆文
恵寿総合病院 産婦人科

［目的］黒大豆は、その植物性エストロゲンといわれるイソフラボン、レシチン、サポニン等により、卵巣機能改善の効果があることが期待される。今回、黒大豆粉末を排卵障害を有する患者に投与し、その改善効果を検討した。

［方法］症例は、当院婦人科外来で続発性無月経・稀発月経ならびに無排卵周期症と診断された患者で、未治療５例、温経湯無効例１０例、温経湯＋クロミッド無効例１０例、HMG投与無効例５例の計３０例。黒大豆は、穀物全粒粉喀製法による粉末にしたものを朝夕２ｇづつ（計４ｇ）を３ヶ月間継続摂取させた。排卵効果の有無は、基礎体温、排卵期の超音波像による卵胞発育にて検討した。黒大豆投与後はそれまでの治療はそのまま継続させ、その後の排卵状態を観察した。

［成績］黒大豆粉末の投与1ヶ月以内に排卵もしくは月経が出現したものは、未治療例3例（３／５）、温経湯無効例５例（５／１０）、温経湯＋クロミッド無効例７例（７／１０）、HMG投与無効例２例（２／５）であり、その後の漢方薬および排卵誘発剤の投与量を減量ないし中止によっても、排卵状態は良好であった。

［結論］黒大豆粉末は、自然時・排卵誘発剤使用時の排卵機能を亢進させることが示唆された。